

K.U.R.I. 宣言

I. 分析

1. 分析（解体と崩壊）は総合（芸術の統合）のまえに続けられなければならない。
2. 芸術は、この道を自然（受継がれた形態に関して）から始まり、つぎのようなさまざまなイズムを通していく。
 - a) 印象主義は色彩と線の分析をした
 - b) 未来主義は運動と時間の分析をした
マリネッティ - ボッチョーニ
 - c) 表現主義は基本的形態と感情の分析をした
カンディンスキー - クレー
 - d) ダダは分析のモードとして破壊を追究した
ツアラ - シュヴィッターズ
 - e) キュビズムはマッサと空間の問題から素材と幾何学的形態へと前進した
ピカソ - オザンファン
 - f) ロシア構成主義は基本的形態と基本的構成のイデオロギーに到達するまで前進した
マレーヴィチ - リシツキー
 - g) ワイマール・バウハウスは建築的理論を与え、工房のマイスターに新しいモラルを与えた
グロピウス - アルバース
 - h) オランダのデ・ステイルは水平と垂直の装飾的な様式を産んだ
ファン・ドゥースブルフ - フルッサー
3. こうして分析のプロセスは、厳格な幾何学的形態と平面的形態を、スペクトルの色彩と白・黒のスケールに到達させた。
4. これらの要素はこれ以上分解しないだろう。したがって、分析の時代は終わった。
5. （同様に19世紀の科学的な仕事も研究や記録や分類が行われる。）
6. 一方、20世紀においては科学的に供給がなされる（技術、社会学、医学）

II. 総合

7. 芸術は統合されたときにのみ、ふさわしい状態になる。
8. 総合芸術は人間の活動の最も高次なもの、つまり建築である。
9. 人が石、セメント、鉄、ガラス、木を結合し、破壊された自然を創造することにおいて総合することとは、幾何学の法則にしたがって分析された空間の構成をすること。
10. 人の新しい考えのための功利主義の実現は、芸術表現に向かってどこまでも活動中である。
11. 感情（倫理的、美学的）のユートピア的思考の追究という主題の代わりに、物質的主题（触ることのできる）を確立すること、したがって、理性的であるということ。
12. 新しい建築に対する世界中の切望は、すべての土地の新しい鉄鋼の作品や塔が空に向かって伸びていくだろうというわれわれの信念を熱くする。
13. K.U.R.I. という建築のコンセプトを強調することは重要であるが、すでに破壊的な芸術のことは遊びや功利的な企業の指標となることを恐れている。
14. したがって、われわれは新しい建物を実際に建てなければならない。
15. 建物は3つの部分からなる。
 - a) 機能的 - 経済的
 - b) 構造的 - 数学的
 - c) 精神的 - 内容

16. 3つの要因のすべては、建築の基礎的指針において、1つの同じ幾何学的法則を強調する必要がある。
17. この基本的な指針（モチーフ）は、全体と個別の部分の特徴を決定する。
18. 建物の素材、構造、形、色、そしてリズムは、部分の形、色、素材とリズムを決定する。
19. こうして、われわれは、上記の方法によってつくられた建築の構成要素として絵画や彫刻や工芸を理解する。
20. これらに含まれる芸術は自由であり、主題の表現は終わりのないところにある。
21. 以上のことを表すために、われわれはKuriということばをコンセプトとして表明する。
22. Kuriは技術の達成を芸術と結合する。
23. 最後に、われわれは機械的な絵画や動く造形、空間と形態を変化させるような建築を手に入れるだろう。
24. 運動は、最後には、置きかえるのではなく、従来の静的な芸術に引き継がれる。
25. 偶然は法則的なものになる。装飾的で表現的なものは、
構成的で
実用的で
合理的で
インターナショナルな
美しいイデオロギーの場に
Kuri、ひとつの、分割できない
世界観である
Kuri！
新しい立方体に：
Kuriの世界は最初の立方体の住まい。
Kuri

ワイマール、1922年12月

モルナール・フォルカシュ、ステファン・ヘンリック、ヨハン・フーゴ、ワイニンガー・アンドル（ハンガリー）、クルト・シュミット、オットー・ケヘル（ドイツ）、ハインリヒ・コッホ、R・コスニック（チェコスロバキア）、ゲオルグ・テルシェール（オーストリア）、アドルフ・パリシ（エストランド）、セミフ・レステム（トルコ）、L・チャチノヴィツ

出典：

モルナール・フォルカシュ(井口壽乃訳)：「K.U.R.I.宣言」.井口壽乃、園府寺司編『アヴァンギャルド宣言 中東欧のモダニズム』（三元社、東京、2005）29-32頁所収